

嬬恋村のキャベツ

キャベツ栽培の主なながれ

産地の特徴

嬬恋村は群馬県の西北端に位置し、活火山である浅間山を始め、2000m級の山々のすそ野に広がる標高700m~1400mの高原地帯です。

土壌は黒ボク土と言われる火山灰土の腐食土壌が多く高原野菜栽培に適しています。嬬恋村の耕地面積は約4,200ha。そのうちキャベツの作付面積は3,050haとなっています。夏は大変涼しく6月~9月の平均気温はキャベツの生育適温と同じ15~20℃となります。昼夜の温度差と高原特有の朝露、また栽培に適した土壌によって、やわらかく甘味のある、美味しいキャベツが生産されています。

省資源化への取り組み

環境にも配慮する中で、農業廃資材の分別回収、量販店、スーパー等への通いコンテナ出荷を導入し省資源化活動にも取り組んでいます。

●コンテナ詰め出荷



■リターナブルコンテナ陳列 ■通いコンテナ詰めのキャベツ

安全・安心への取り組み

- 黄色い旗の設置(薬剤飛散防止対策)
- 農薬適正使用推進員資格取得
- 生産履歴の記帳
- 定期的な残留農薬分析

環境保全への取り組み

農家にとって一番大切な土壌の流出を防止する為、グリーンベルトの設置、収穫後の緑肥の作付けなどを積極的に行うことにより、豊かな土壌作りにも配慮しております。

●グリーンベルト

環境保全型農業を目指し、グリーンベルトによる表土流出対策



新品種の開発

より美味しい、より生産しやすい品種を開発する為に、種苗会社と連携し、嬬恋の産地に適した品種を開発・育成・普及する試験を実施しています。



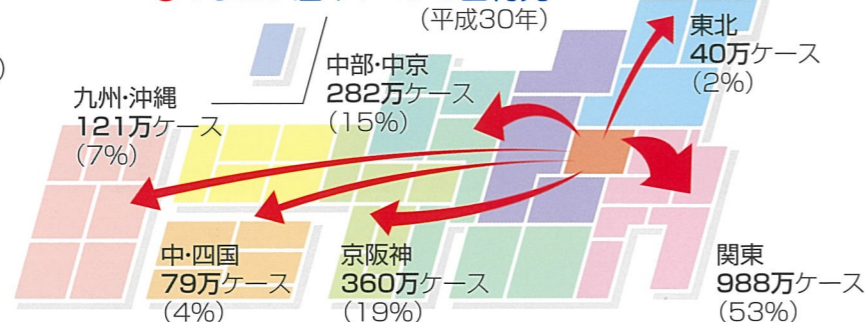
●キャベツ生産計画(令和元年度)

合計: 1,890万ケース
1ケース: 10kg(平均8個詰め・15kg含む)

●夏秋キャベツ出荷量(平成30年)

全国 447,900t(統計値)
JA嬬恋村 196,810t(43.9%)

●つまごい産キャベツの出荷先(平成30年)



①種まき



②畑づくり



③植え付け



④肥培管理



⑤収穫



⑥予冷蔵で冷やしてから出荷します

